

日本原水協活動交流ニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com

2013年
4月23日
No.8

国連でのジュネーブでの原爆展始まる — 第2回NPT準備委員会への代表団 —

ジュネーブ要請行動に呼応し、全国で署名と原爆展を広げよう



＜代表団第一報＞2015年NPT（核不拡散条約）再検討会議に向けた第2回準備委員会が開幕した4月22日午後、会場の国連欧州本部アセンブリーホール前で、被爆写真展「核兵器のない世界へ ヒロシマ・ナガサキはよびかける」がはじまりました。

これは、原水爆禁止日本協議会（日本原水協）が国連軍縮室などの協力を得て開いているもので、会場には、準備委員会参加の各国政府代表やNGOの代表が次々と訪れ、写真に見入っています。



午後1時からのオープニングには、各国NGOの代表や政府代表などおよそ50人が参加し、被爆者の藤森俊希さん（日本原水爆被害者団体協議会事務局次長）が被爆の体験を交えながら、核兵器の禁止をうったえました。

また、国際平和ビューローのインゲボルグ・ブレインス共同会長、スイス政府外務省のレト・ウォイエンマン核軍縮不拡散部会副責任者もマイクを取り、それぞれ被爆の実相を伝える日本原水協や被爆者の取り組みをたたえました。

開会の冒頭、主催者代表としてあいさつした高草木博日本原



水協代表理事は、「核兵器使用の人的影響」を焦点に核兵器廃絶を訴えるスイス政府などの声明などに触れながら、核兵器がひとたび使われれば、その人的影響は留まるところを知らない、と述べ、展示を見たすべてのみなさんが、「ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ」の被爆者の思いを共有し、核兵器全面禁止のために共に行動してほしいとよびかけました。